

緊急地震速報 音声報知システム



地震が来ます

大きな揺れが来る前に音声で
知らせてくれる地震速報です。



緊急地震速報は、地震による強い揺れをIT技術を活用して事前にお知らせするシステムで、平成19年10月1日に一般提供が開始されました。

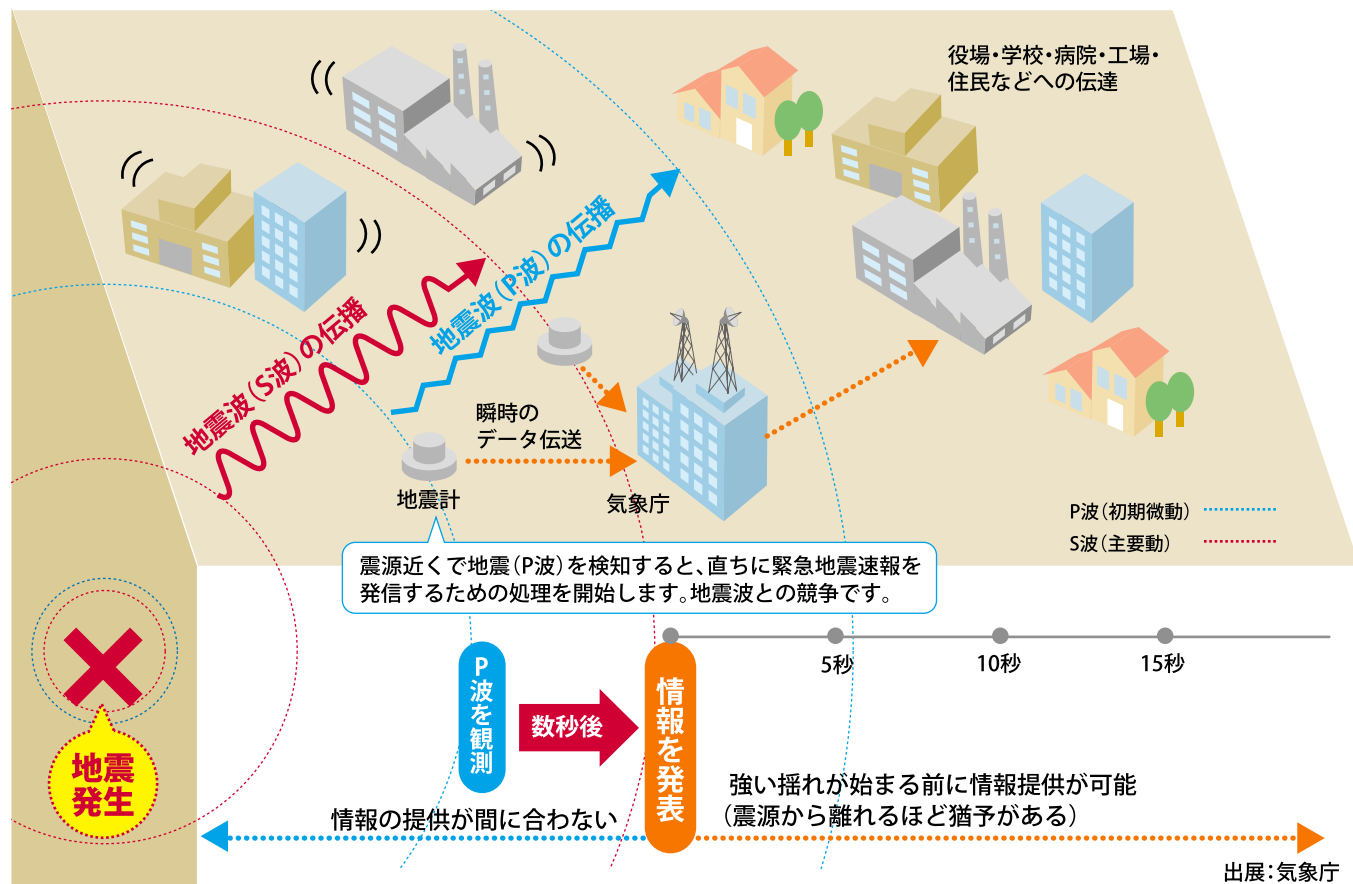
TOAでは、公共空間の音作りのノウハウを活かし、既存の放送設備やIPネットワークを活用した「音声」による緊急地震速報の報知・放送システムをご提案いたします。

※緊急地震速報報知システムは、システムを導入したからといって、それがすぐに減災につながることはありません。

緊急地震速報を **知る** **備える** **訓練する** ことが重要です。

なぜ、揺れる前に

地震の発生を知らせることができるのか？



- 地震の揺れは、震源から波紋のように波(地震波)として伝わっていきます。
- 地震波は主に2種類あります。P波(初期微動)とS波(主要動)です。最初にP波が伝わります。次に強い揺れのS波が伝わります。地震による被害は主にS波によってもたらされます。

[地震波が伝わる速さ] P波(カタカタ揺れる波) ▶ 秒速 約7キロメートル
S波(ユサユサ揺れる波) ▶ 秒速 約4キロメートル

全国に配置した地震計(気象庁:約200箇所、独立行政法人科学技術研究所:約800箇所)を使って、地震の位置、大きさを瞬時に推定、予想される揺れの大きさ(震度)を推定

IT技術を活用し、素早くお知らせ(緊急地震速報)

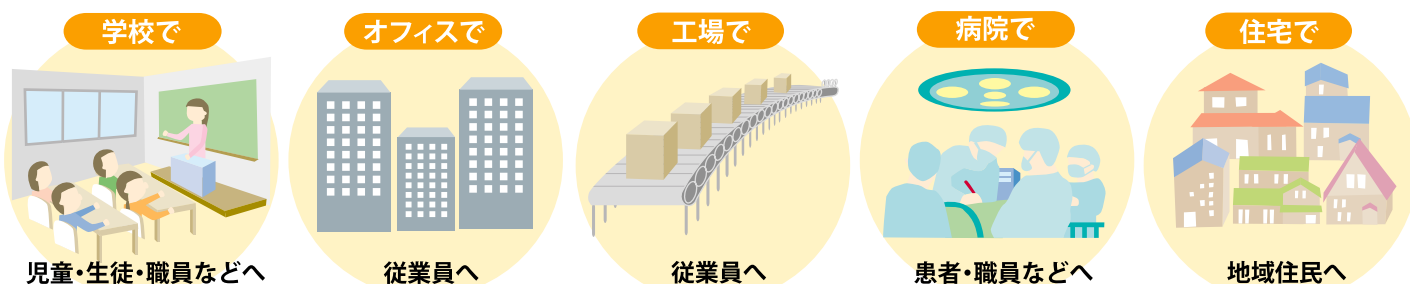
緊急地震速報には技術的な限界があります。

緊急地震速報の提供が主要動の到達に間に合わない場合があります。

誤報が発信されることがあります。

震度や猶予時間の推定精度が十分でないことがあります。

緊急地震速報音声報知システムは、大きな揺れが来る前に人々へ知らせ、危険回避行動を促します。

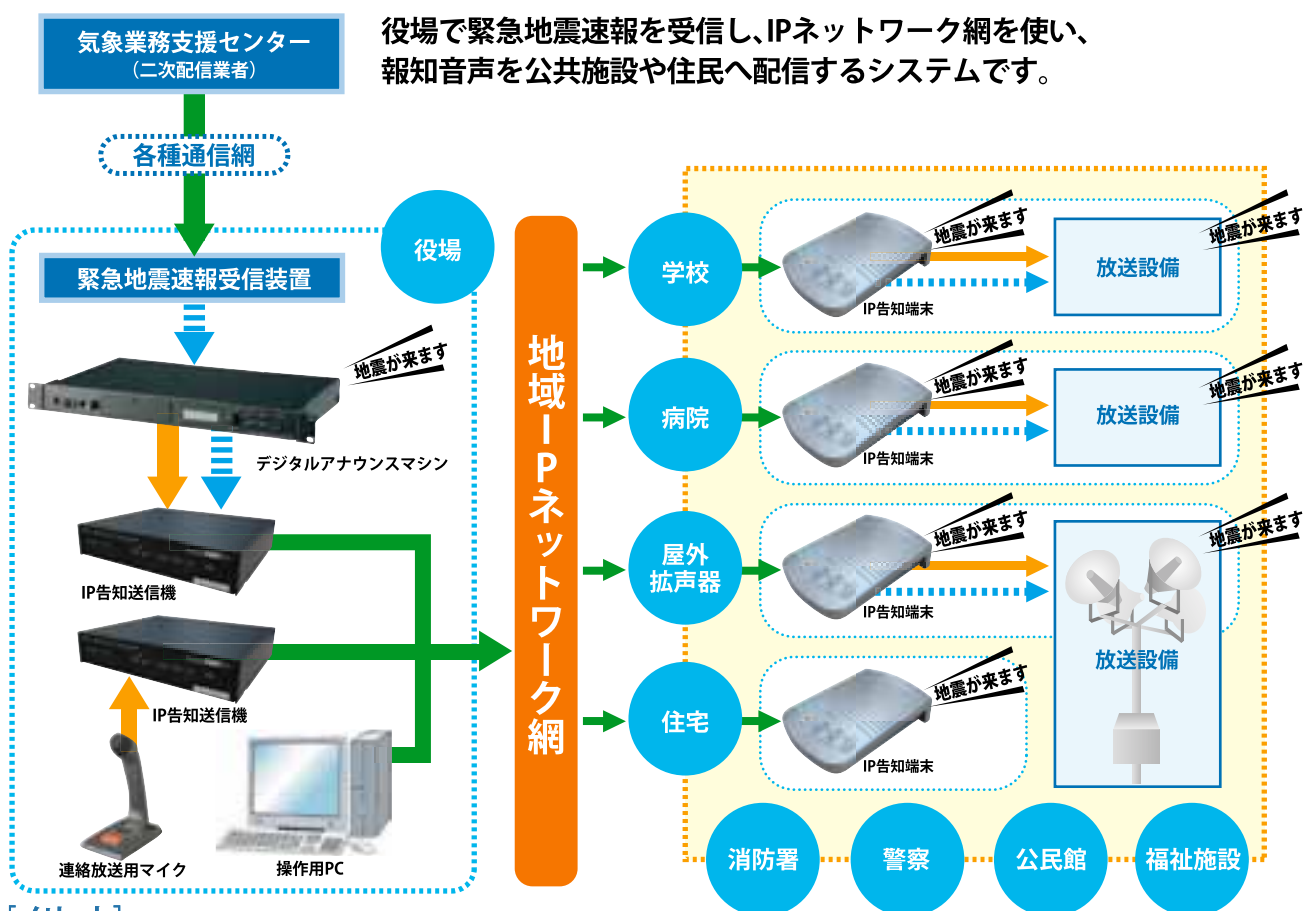


TOA緊急地震速報音声報知システム

放送設備を活用した緊急地震速報音声報知システム



IPネットワークを活用した緊急地震速報音声報知システム



[メリット]

- 1 公共施設ごとに緊急地震速報受信装置を設置するよりも低コストで構築できます。
- 2 公共施設の既設音響設備にも放送可能です(校内全域、病院全域など)。
●役場から災害避難場所(学校体育館等)への給水・食糧配付のお知らせが可能です。
- 3 緊急地震速報以外に、役場から公共施設や住民へのイベント案内などの連絡放送にも使えます。
- 4 IP告知端末同士でインターホン(1対1)としても活用できます。

現在お使いの放送設備で 緊急地震速報の音声報知をお考えのお客様へ

非常に古い設備の場合や、故障が多い場合には、いざというときのために新しい放送設備への入替をご検討ください。

緊急地震速報を報知したい場所にスピーカーが設置されていなかったり、放送が聴き取りづらい場合は、スピーカーの新設・増設をご検討ください。

音量調節器がOFFの場合にも放送できるよう、緊急放送対応機種への入替をご検討ください。

地震後に停電しても避難誘導放送が行なえるように、非常電源対応をご検討ください。

緊急地震速報の免責について

緊急地震速報には限界があります。

- 短時間で予測された震度情報のため、規模や到達時間などの誤差を生じる場合があります。
- 直下型地震が起こった場合、初期微動から大きな揺れが来るまでの時間差が短く、緊急地震速報の提供が間に合わない場合があります。
- 事故や機器・システムの不具合、故障、また落雷などにより、誤報が発信される可能性があります。

本システムの利用は、お客様の責任において行なってください。

- 本システムは地震災害による損害の軽減を保障するものではありません。
地震が起こった際に的確で迅速な行動が取れるように、事前に十分訓練を行なってください。また、運用方法や日常からの教育も必要です。
- 本システムの利用によって生じた損害について、弊社は賠償の責任を負いません。

安全に関するご注意



- ご使用前に「安全上のご注意」および「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 製品は本来の用途以外には使用しないでください。
- このカタログ記載の製品には電気工事等が必要な場合があります。お買い上げの販売店、または専門業者に相談ください。配線等の据え付け工事に不備があると感電や火災の原因になることがあります。
- このカタログに記載されている製品を天井等に取り付ける場合、金具等を含む全重量に十分に耐えられる強度のある場所に取り付けてください。十分な強度がないと、落下、転倒によりケガをする場合があります。

設置・ご使用上のご注意



- 製品を常に最良の状態でお使いいただくために、一定期間ごとの保守点検を実施されることをお勧めします。
- 非常用放送設備は消防法により所定の保守点検の実施が義務づけられています。
- 保守点検・修理の期間、費用等は買い上げの販売店にご相談ください。

TOAは国際規格である品質保証の「ISO9001」、環境の「ISO14001」の認証登録企業です。



JMI-0020
ISO9001
本社
宝塚事業場
東京事務所
大阪営業所



JQA-EM1400
ISO14001
宝塚事業場

●このカタログに記載されている製品価格には設置調整費用、電気工事費用、使用済み商品の引取り費用等は含まれておりません。●このカタログに記載されている製品は改良のため予告なく仕様・価格等を変更する場合があります。●製品の色は印刷のため実際の色調とは多少異なる場合があります。●このカタログに記載されている製品は日本国内専用です。海外ではご使用できませんのでご注意ください。



札幌	TEL (011) 780-1001代	東京第1	TEL (03) 5621-5761代	京都	TEL (075) 212-4100代
青森	TEL (017) 723-3751代	東京第2	TEL (03) 5621-5782代	神戸	TEL (078) 303-5625代
盛岡	TEL (019) 636-4231代	東京第3	TEL (03) 5621-5790代	岡山	TEL (086) 241-8029代
仙台	TEL (022) 256-8100代	セキュリティ・ネットワーク東京	TEL (03) 5621-5801代	広島	TEL (082) 291-3988代
セキュリティ・ネットワーク仙台	TEL (022) 256-8100代	静岡	TEL (054) 237-8850代	高松	TEL (087) 866-5995代
郡山	TEL (024) 923-7744代	金沢	TEL (076) 244-1951代	松山	TEL (089) 931-1586代
水戸	TEL (029) 231-9811代	岐阜	TEL (058) 276-1401代	北九州	TEL (093) 581-4722代
宇都宮	TEL (028) 633-9661代	名古屋	TEL (052) 509-7851代	福岡	TEL (092) 431-0061代
多摩	TEL (042) 584-1711代	セキュリティ・ネットワーク名古屋	TEL (052) 509-7852代	福岡	TEL (092) 473-0809代
長野	TEL (026) 234-2231代	津	TEL (059) 224-6645代	熊本	TEL (096) 360-5907代
新潟	TEL (025) 246-2316代	大阪第1	TEL (06) 6260-1525代	鹿児島	TEL (099) 256-5245代
千葉	TEL (043) 234-6511代	大阪第2	TEL (06) 6260-1526代	那覇	TEL (098) 866-5598代
さいたま	TEL (048) 685-5131代	大阪第3	TEL (06) 6260-1527代		
横浜	TEL (045) 444-3422代	セキュリティ・ネットワーク大阪	TEL (06) 6260-1528代		

※このカタログに掲載されている製品の価格はすべて希望小売価格です。

商品の価格、在庫、修理およびカタログのご請求については、
取扱店または最寄りの営業所へお申し付けください。

TOAインフォメーションセンター

商品の内容や組合せ、設置方法などについての技術的なお問い合わせにお応えします。

0120-108-117 フリーダイヤル <無料電話> **受付時間** 9:00～17:00 (日曜・祝日除く)
PHS携帯からのご利用は **TEL. 0797-72-7567** 〒665-0043 宝塚市高松町2番1号
FAX. 0797-72-1090

TOAインターネット・ホームページ

最新情報はもちろん、音にまつわるライブラリも充実。 <http://www.toa.co.jp/>

■お問い合わせは下記の取扱い店へ

2008.02

●このカタログは平成20年2月現在の仕様・価格に基づいて作成されています。カタログNo.D-046 TH10